

2023 年 8 月 23 日

2023 年度「第 1 回須坂市地域包括支援センター運営協議会」
2023 年度「地域密着型サービス運営委員会」 (報告)

1 開催日時・場所

2023 年 7 月 19 日（水）午前 10 時 00 分～正午 須坂市役所東庁舎第四委員会室

2 出席者

五明 広樹 会長	佐藤 香代子副会長	佐藤 貴幸 委員
田中 彩也佳委員	中野 大悟 委員	永村 清造 委員
竹前 光子 委員	小根山 晶 委員	青木 透 委員
永井 富壽子委員	松山 あき子委員	渡辺 淳子 委員
湯本 真実子委員	青木 一浩 委員	遠藤 誠治 委員
朝川 伊知郎委員	坂田 美春 委員	

3 欠席者

なし

4 事務局出席職員

牧健康福祉部長	荻原高齢者福祉課長兼地域包括支援センター所長	中村地域包括支援センター介護予防係長
宮川地域包括支援センター地域支援係長	市村地域包括支援センター社会福祉士	六川地域包括支援センター保健師
百瀬地域包括支援センター保健師	永井地域包括支援センター主任介護支援専門員	滝澤高齢者福祉課高齢者福祉係長
福崎高齢者福祉課介護保険係長	湯本高齢者福祉課高齢者福祉係主査	堀内高齢者福祉課介護保険係主査

5 地域包括支援センター須坂やすらぎの園出席職員（運営協議会のみ出席）

吉田地域包括支援センター長 山口地域包括支援センター主任介護支援専門員

6 傍聴者

なし

7 配布資料

須坂市地域包括支援センター運営協議会設置要綱
2022 年度地域包括支援センター事業報告
須坂市及び須坂市地域包括支援センターの自己評価結果
2023 年度地域包括支援センター事業計画
2022 年度須坂市地域包括支援センター地域支援事業決算書
2022 年度須坂市地域包括支援センター須坂やすらぎの園収支決算報告書
2023 年度須坂市地域包括支援センター地域支援事業予算書

2023 年度須坂市地域包括支援センター須坂やすらぎの園収支予算書
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業
須坂市地域密着型サービス運営委員会設置要綱
2022 年度地域密着型サービス運営状況
指定地域密着型サービス事業所一覧
地域密着型サービスへの運営指導状況

8 開 会

9 あいさつ

(牧健康福祉部長)

本日はご多用の中ご出席いただきありがとうございます。また、日頃より市行政にご協力いただいておりますことに重ねて感謝申し上げます。

須坂市高齢者いきいきプラン 第9次須坂市老人福祉計画・第8期須坂市介護保険事業計画では、「住み慣れた地域で支え合い 高齢者が生きがいを持ち 自分らしく暮らせるまち」を基本理念として掲げています。今年度はこの計画が3年目となり、2024年度を初年度とする次期計画の策定を進めているところでございます。

須坂市においても 65 歳以上の高齢化率は年々増加し、2023 年4月1日現在では 31.90%となっており、2025 年には高齢化率が 33.1%になると見込まれております。一人暮らしや高齢夫婦のみの世帯が増加する中で、「介護予防・健康づくり」、「認知症施策の推進」、「権利擁護への支援」など、様々な課題があります。

地域包括支援センターは、計画の基本理念を踏まえ、地域包括ケアシステムの構築のための中核的な機関として各事業を運営しており、2021 年 10 月には委託型地域包括支援センターを開設いたしました。引き続き、住み慣れた地域で生活ができるよう相談体制の充実を図ってまいります。地域包括ケアの更なる構築に向け、地域包括支援センターの運営状況、機能強化についてもあわせて検討を進めていきたいと思っております。

本日は、地域包括支援センターと地域密着型サービスの昨年度の取り組み、そして今年度の計画についてご協議いただきます。委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきますようお願いして挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

10 自己紹介

11 議事

(1) 会長の選任について

運営協議会設置要綱第4による互選により、会長に五明広樹委員が選任された。

(2) 須坂市地域包括支援センター運営協議会

- ① 2022 年度事業報告
- ② 2023 年度事業計画

③ 2022 年度地域支援事業決算及び 2023 年度予算について
資料をもとに、事務局より説明がされた。

■これに対し、委員より次のような質問・意見が事務局に出された。

質問・意見① 須坂市及び須坂市地域包括支援センターの自己評価結果表について

委員 須坂市及び須坂市地域包括支援センターの自己評価結果表の見方を教えてもらいたい。全国という欄のパーセンテージは何を意味しているのか。

事務局 例えば、1、組織・運営体制等の1項目「市が定める運営方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか」という評価指標に関して、直営・委託ともに「策定をしている」と回答している。同様に、「策定している」と回答している地域包括支援センターが全国では 94.8%あるということを意味している。

質問・意見② 地域支援事業決算書・予算書について

委員 直営の地域包括支援センターの 2022 年度の決算額が大きく予算額を下回っており、2022 年度の予算額が前年度に比べて減額されている。2022 年度の事業の決算額をもとに、2023 年度の予算額を計画したために予算額が減額されたのか。例えば、認知症に関する事業については、2022 年度は予算の約半分程度のみ決算されている。それは認知症に関する事業を拡大していくのが難しいという判断のもとなのか教えていただきたい。

事務局 認知症総合支援事業に関しては、2022 年度は予算に人件費を組み込んでいたが、他の事業に人件費を組み替えたため半分の決算額になっている。また、介護予防・生活支援サービス事業の予算では、要支援や事業対象者の方々が利用したサービス等の実績に基づいて、件数が減っている現状を踏まえて予算を計上している。

質問・意見③ 2023 年度事業計画について

委員 2022 年度の事業報告の成果と課題を報告していただいているが、その課題をふまえて、2023 年度の計画や予算に反映されているものはあるのか。

事務局 一時的に機能が低下した方を対象に、3 か月間短期集中的に週 2 回通所リハビリを行い、元の生活を取り戻すことを目的とした事業がある。実際に利用した方の中には、家から出られない状態から、3 か月間の取組みによって自転車に乗れたり買い物に行けるようになった方がいる。サービスを利用した多くの方が元の生活まで戻れたという実績があるため、効果的な事業であると評価し、今年度力

を入れて取り組んでいくつもりである。

質問・意見④ 認知症総合支援事業について

委員 寝たきりの最大の要因として認知症があげられるが、認知症に関する事業の予算が縮小されているという点から課題を感じている。チームオレンジや認知症初期集中支援チームなどの認知症の事業がどのように行われているのか教えていただきたい。

事務局 認知症初期集中支援チームでは、市内の認知症サポート医や社会福祉協議会、地域の薬剤師、地域包括支援センター、高齢者福祉課がチーム員となり、支援ケースの検討会議を行っている。ケアマネジャーや職員からの相談で、必要な医療や介護に繋がっていないケースが、集中的な訪問相談を行うことで、医療や介護サービスに繋がりに見守りや支援につながっている。

チームオレンジとは、認知症サポーターステップ講座を受けた方やキャラバンメイトが、認知症の方やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援に繋がる仕組みづくりである。2022 年度に 2 カ所認知症カフェが立ち上がったため、キャラバンメイトや認知症サポーターの方々に一緒に活動していただいて、認知症の方や家族の相談や交流といった活動をしている。今後、認知症の方のやりたいことを認知症サポーターや地域の方に関わっていただき実現させていきたい。

(3) 須坂市地域密着型サービス運営委員会

- ①地域密着型サービス運営状況について
 - ②地域密着型サービス事業所指定状況について
 - ③地域密着型サービス事業所への運営指導の実施について
- 資料をもとに、事務局より質問がされた。

■これに対し、委員より質問・意見はなかった。

12 その他

■全体を通して、委員より次のような質問・意見が事務局に出された。

質問・意見① 高齢者の福祉について

委員 デジタル社会であるがスマホの使い方がわからない高齢者が多い。スマホ教室は須坂市にはないため、市役所周辺で高齢者のためのデジタル教室の開催を検討してほしい。また、現在おむつ購入利用券の補助が要介護 3 以上の方が対象にな

っているが、要支援の方の中にもおむつを利用している方が多く、柔軟な対応をお願いしたい。高齢者の中にはただお喋りしたい方もいれば、介護している話を聞いてほしいという方もいたり、相談したいが相談する場所がないという方もいると思う。市の職員だけでなく、地域のサポーターさんなどとも協力して住みやすい須坂市にしてほしい。

事務局 意見に関しては、可能なものは検討していきたい。今後ますます地域の力が重要になっている。旭ヶ丘地区のたすけ合いの会のような取り組みが他の地域でも広がっていけるよう支援を行っていきたい。

質問・意見② 認知症家族会や認知症カフェについて

委員 家族会や認知症カフェへの参加人数を増やしていくことが課題であるということに関して、参加する人が何か資格につながるような魅力があればいいのではないか。

また、認知症の方にはユマニチュードという方法があるため、支援の参考にしてみたい。

事務局 何か資格が取れるような形を実現していくのも一つの方法であるため、検討していきたい。ユマニチュードの取組みについて学習していきたいと思う。

(牧健康福祉部長あいさつ)

本日は長時間にわたりご協議いただき、また貴重な多数のご意見を頂戴しまして本当にありがとうございました。

政策には様々な課題がございますが、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせるように、本日の皆様のご意見を参考により良い取り組みを進めてまいります。

今後ともご指導をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

本日はありがとうございました。

13 閉会

以上